

広島市植物公園 見どころ案内



2024 年 6 月 20 日
通巻第 626 号

ユウスゲ (ススキノキ科)

本州・四国・九州の明るい草地に生育する多年草。和名は花が夕方から咲き、細長い葉がスゲに似ていることから。ログガーデンのヘメロカリスと同じ仲間（同属）。

インドハマユウ (ヒガンバナ科)

明治時代に導入された古い園芸植物。原産地が南アフリカであることから、他種との混同を防ぐために、アフリカハマユウと呼び替えることが提唱されています。

グランマトフィルム キナバルエンセ (ラン科)

ボルネオ島原産の巨大な着生ラン。花茎は約 230cm あり、人の背丈よりも高いです。4 年ぶり 2 回目の開花で、見頃は今月末までなので、お見逃しなく。

★大温室で見頃の花 アンスリウム、スパティフィラム、ラッセリア、シュロガヤツリ、タコノキ・ピヨウタコノキ（実）、ハマユウの仲間、ナンヨウザクラ、モンパノキ、オウコチョウ、ブーゲンビレア、デビルフラワー、カエンボク、洋ラン各種、アリストロキア ギガンティア、トーチジンジャー、カカオ・ソーセージノキ（花・実）、[パニア、ベニノキ、ユーゲニア メガカルパ、コーヒートノキ、ジャボチカバ、バナナ各種、チューインガムノキ、オオミノトケイソウ、パパイア、ココヤシ、バキラ（以上は実）]、レンブ、ベニバナトケイソウ、マツリカ、ジャスティキア スピキグラ、チャボイランイランノキ、アリストロキア トリカウダタ、パボニア グレヒリー、アリアケカズラ

展示会のご案内

アジサイウィーク (5/25～6/30)

①展示資料館 (6/15～7/15)

私の好きな花たちの写真展

②展示温室 (6/29～7/15)

ビカクシダとカラフルリーフ展

③屋外展示場 (5/25～6/30)

アジサイ展

アジサイ (アジサイ科)

屋外展示場、日本庭園、うらら池周辺に展示、植栽された約 140 品種のアジサイが、赤、白、青、紫のグラデーションで楽しませてくれます。

アメリカデIGO

アエスクルス パルビ フローラ (トチノキ科)

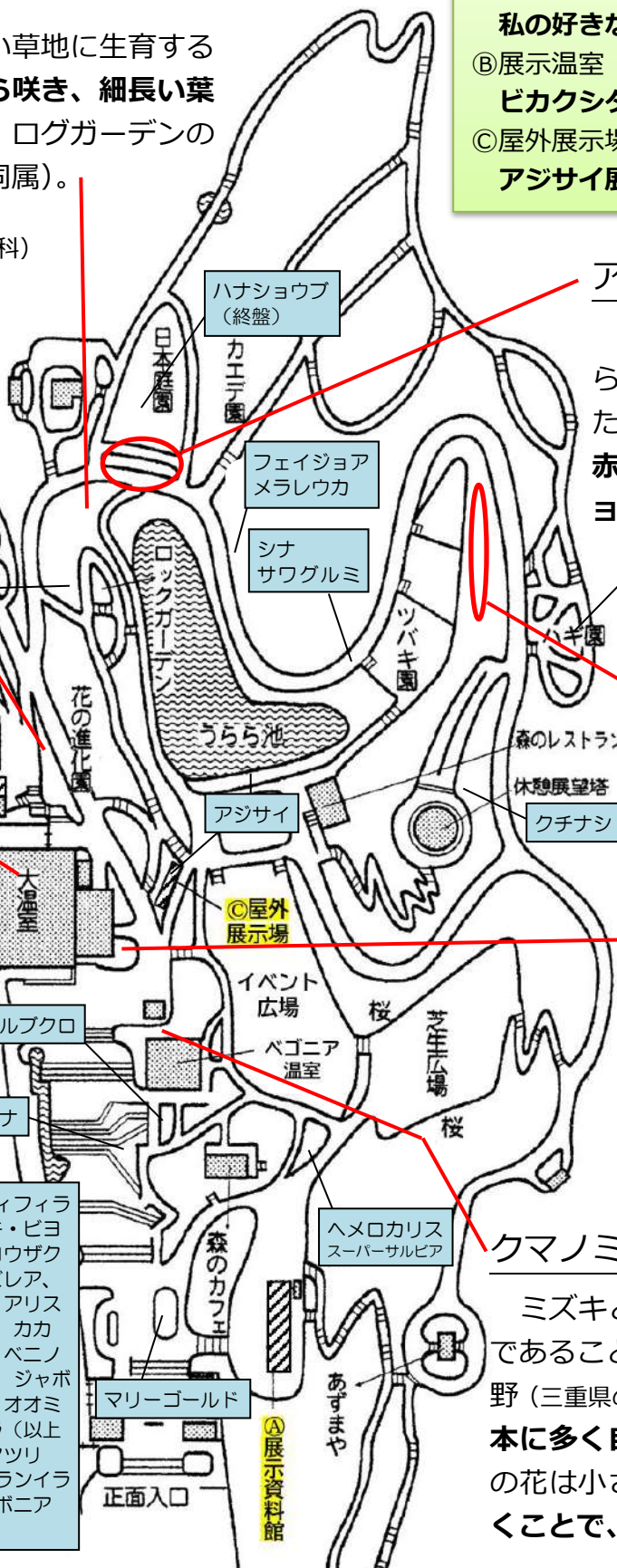
北米原産の小型のトチノキの一種。穂状に伸びた白い花が咲きはじめ。

ハンゲショウ [半夏生] (ドクダミ科)

水辺や湿地に生育する多年草。花は穂状に垂れている部分で、直前に出た葉の一部が白くなるのが特徴。

クマノミズキ (ミズキ科)

ミズキと似ていますが、葉が対生であることで区別できます。また、熊野（三重県の地名）とあるように、西日本に多く自生しています。一つ一つの花は小さいですが、まとまって咲くことで、昆虫を呼び寄せています。



❖ 毎週土・日曜日・祝日 午後 1 時半～3 時 20 分は、ガイドボランティアが園内を案内します❖
❖ 6/25、7/7、7/23 午前 11 時～は、職員による植物うんちく語りを実施します❖